

# ChatGPTからの送客を観測した

公開日: 2026-05-22 | 著者: WebPita (株式会社リタ)

## WebPitaの観測結果

観測期間: 2026-05-01 ~ 2026-05-22

全アクセスのうちChatGPTからの送客と推定される割合

# 0.00131%

※本レポートにおける「ChatGPTからの送客」とは、ChatGPTの回答内リンク等を経由したと推定される人間のアクセスを指します。

項目 (Item)	アクセス数 (Access Count)
Total Accesses (全アクセス)	304,911 件
GPTBot (事前学習系クローラー)	11,196 件
ChatGPT User (ChatGPT内リアルタイム情報取得)	1,852 件
OAI-SearchBot (検索用途クローラー)	9,227 件
Visit From GPT (ChatGPTからの送客・人間)	4 件

### 【アクセス内訳の分析】

- ChatGPT関連機能による総アクセス数: **22,275 件**  
(11,196 [GPTBot] + 1,852 [ChatGPT User] + 9,227 [OAI-SearchBot])
- 全体アクセス数に占めるChatGPT関連アクセスの割合: **7.31%**
- 全体アクセス数に占めるChatGPTが送客した割合: **0.00131%**
- ChatGPT関連機能の総アクセスに対する実際の送客割合: **0.018%**

## AIはWebを閲覧しているが、送客は極小

今回の観測では、GPTBot、ChatGPT User、OAI-SearchBotによるアクセスが多数確認されました。特にクローラーであるGPTBotおよび検索用ボットのOAI-SearchBotのアクセス数は多く、OpenAIのシステムが活発にWebページ情報を取得・参照している実態が浮き彫りになっています。

一方で、これら数万件に及ぶロボットアクセスに対し、実際のChatGPTからの「人間ユーザーの送客（クリック遷移）」はわずか4件に留まりました。現状の対話型AIの普及は、コンテンツ保有者（Webサイト運営者）へのトラフィック還元の見点からは恩恵が極めて少なく、今後の動向を厳しく注視する必要があります。

## ChatGPTは検索エンジンではない（ゼロクリック問題）

従来のGoogle検索は「ユーザーを適切なWebサイトへ案内・送客する」という前提でエコシステムが構築されています。これに対し、ChatGPTに代表される対話型AIは、自らの会話（回答出力）の中でユーザーの疑問を完結させる傾向が非常に強い特性を持っています。

そのため、AI自身が裏側でWebページを熱心に参照・学習していても、実際に一般ユーザーにリンクを踏ませてWebサイトへ誘導するケースは限定的です。

例えば、ユーザーが「キャンプに行きたいので提案して」と質問した場合、ChatGPTはWeb上の情報を参照して具体的なキャンプ場名やその特徴を美しく要約して回答します。しかし、その回答内に元のキャンプ場公式サイトへのリンクが明示的に表示され、クリックされる確率は極めて低くなります。ユーザーはChatGPTの要約だけで満足するか、あるいはそこから改めてGoogle検索や地図サービスを用いて再探索を行うこととなります。

今回のリアルログによる観測結果は、「AIにコンテンツが閲覧・消費されること」と、「人間のユーザーが自社Webサイトへ訪問すること」は、全く別の現象として切り離して戦略を立てる必要があることを証明しています。

## 観測条件および対象ログ

本データは、国内の複数の中小企業のWebサイト群（合算ログ）から抽出したものです。WebPitaでは、OpenAIの公開情報および高精度なアクセスログ解析をベースに、以下の判定基準を用いてChatGPT関連アクセスの識別を行っています。

### 判定に利用した主なシグナル

- OpenAIが公式に公開しているIPアドレスレンジ
- 特定のUser-Agent文字列（GPTBot, OAI-SearchBot等）
- HTTP\_REFERER（リファラ情報）
- URLパラメータ（utm\_source=chatgpt.com）

- ISP判定（ボットではなく「人間のアクセス」であることを切り分ける高精度判定）

## 観測対象ログの抽出定義

AI、またはAI経由のユーザーによる実質的な「ページ閲覧」に準ずるアクセスを中心に解析を行っています。

- HTTPステータスコードが 200 / 206 / 304 の正常なアクセス
- 拡張子が html / php / pdf などのコンテンツファイルおよびフォルダURLへのアクセス
- **観測除外対象**：画像ファイル、CSS、JavaScript、各種リダイレクトアクセス、404エラーログ

## まとめ

WebPitaによる実際のアクセスログ観測により、ChatGPT関連のボットアクセスが全体の7%以上を占めるほど活発化している一方で、そこからの人間ユーザーの送客は0.001%台という衝撃的な乖離がデータとして実証されました。

生成AI時代（AIO / AI最適化）においては、これまでのSEO（検索エンジン最適化）の常識は通用しません。「AIに情報を正しくインデックスさせる対策」を進めつつも、それがトラフィックに繋がらない「ゼロクリック問題」に対して、ビジネス側がどのような次の一手を打つべきか、Webサイトの存在意義そのものが問われ始めています。

### AIアクセス解析ツール「WebPita AI Console」

本レポートのようなAIボットの動向、およびAIからのリアルな送客数をあなたのサイトでも可視化します。

詳細：株式会社リタ (<https://www.webpita.com>)